



紫雲児の心

5月6日(金)に、チャレンジ・ウォークを実施しました。天候に恵まれ、雨の心配はありませんでしたが、気温が高くなりました。熱中症予防に配慮しながら、生徒会が設定した全校スローガン「NEW DISCOVERY～仲間とともに～」の下、個人目標を設定し、その達成を目指しました。

5月9日(月)の全校朝会では、チャレンジ・ウォークに関して次のような話をしました。

チャレンジから得たもの

校長 五十嵐 めぐみ

皆さんにとって、チャレンジ・ウォークはどうでしたか? 「チャレンジ」とは、一体、何へのチャレンジなのでしょう? 私にとっては「自分へのチャレンジ」です。私はもう歳ですし、普段は車に乗ることが多く、日常生活の中で長い距離を歩くことはありません。昨年より短くなったとは言え、20kmも完歩できるか心配でした。でも、生徒の皆さんに「がんばれ!」と言いながら、自分ががんばらない訳にはいきませんから、自分の限界にチャレンジしようとがんばりました。そして、ゴールした時には、大きな達成感を得ることができました。

歩いている途中で、いろいろな新しい発見「NEW DISCOVERY」がありました。車で通り過ぎるだけでは気付きませんでした。周りの景色を見ながら歩くと、大きな藤の木がたくさんあり、藤の花が咲いていました。私は以前も紫雲寺中学校に勤めていたので、紫雲寺地区のことはだいたい知っているつもりでいましたが、そうではありませんでした。学区内、学校のすぐ近くなのに、初めて知りました。鶏や鴨、牛にも出会いました。改めて、紫雲寺は自然豊かな地域だと思いました。

そして、私にとって何よりの発見は、何人かの人といろいろな話ができたことです。まだ、生徒の皆さん一人一人とゆっくり話ができていなかったのも、とても嬉しかったです。

長い距離を歩くのは苦しかったです。がんばってチャレンジして良かったと思います。でも、自分一人だったら、途中で挫けていたかもしれません。みんなで励まし合って歩いたから、完歩できたのではないのでしょうか。

皆さんも、自分にとってどんなチャレンジ・ウォークだったか、何を発見できたかを、この後、クラスに戻ってしっかり振り返ってください。それが、必ず今後生きてきます。

お疲れ様でした。そして、これからも、いろんなことにチャレンジしましょう!!

生徒の振り返りアンケートでは、「自分の目標に向かって自らの限界にチャレンジできた。」「困難に立ち向かい、粘り強く取り組めた。」「身近な地域を歩きながら自然環境にふれ、新たな発見や気づきを得ることができた。」「お互いに支え合い、励まし合える仲間関係を築けた。」のすべての項目で、肯定的評価がほぼ100%でした。

事前の持ち物等の準備や当日のお弁当の準備、そして、生徒の安全確保のために当日ボランティアとしてご協力いただいた保護者の皆様など、たくさんの方のご協力のおかげで、充実した活動になりました。心より感謝申し上げます。

今後も、生徒の心と体と頭を鍛え、人としてたくましく生きていく力を養うための教育活動を工夫していきたいと思っておりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。